

良導絡チャート診断と治療（腰・下肢編）

良導絡専門師

鈴木 利也

私たち鍼灸師が患者様の体調を客観的に知る事の出来る唯一の検査法が良導絡自律神経測定です。西洋医学と東洋医学の両面から診ることが出来、誰が測定しても同じ検査結果を出すことが出来ます。カルテをもとに治療点を導き出し刺激量を把握して施術をして行くことが大切です。

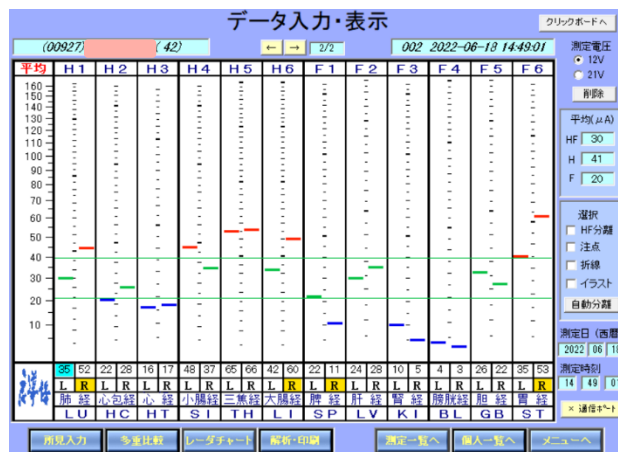
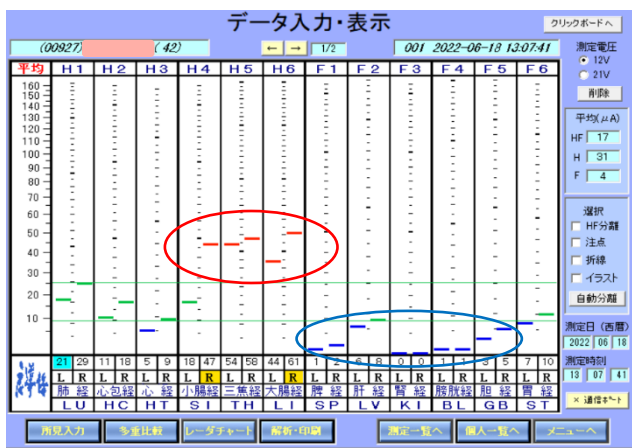
○左右差、H・F分離、拡大測定を積極的に使しましょう

○術前診断、術後評価のチャートをとる

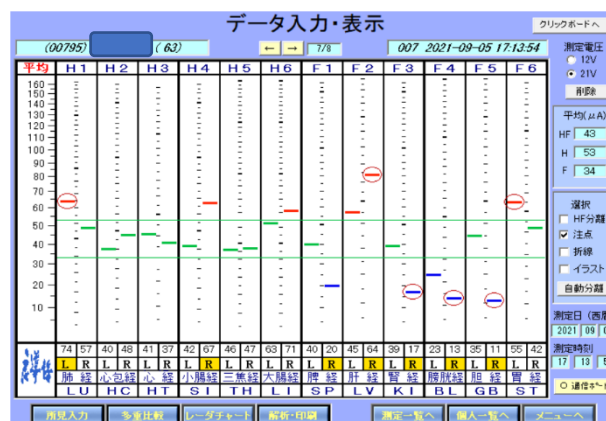
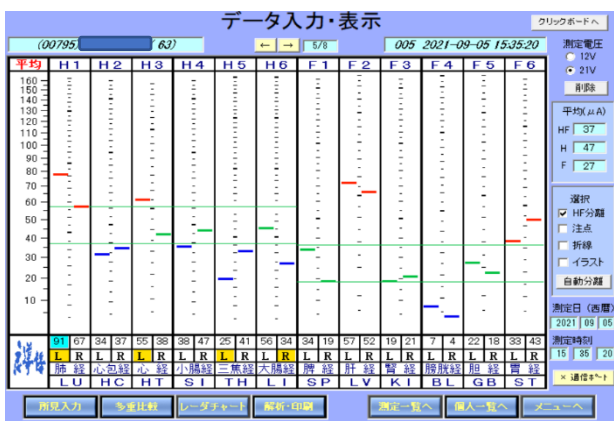
○日頃から良導絡測定をして個人のチャートパターンを把握し比較をする

★チャートの興・抑、左右差より問診、体表診察、筋硬結、筋緊張、運動動作などから読み解いていく

症例① 腰痛症：右下肢全体の浮腫、右鼠径部に圧痛、安静時痛、運動痛



症例② 腰痛症：左腰痛、前後屈運動痛、



症例③ 左膝関節痛・腰痛：左膝屈伸運動痛、歩行痛、腰部前後回旋運動痛、仙腸関節部の圧痛

